

学校だより 12月号

平成29年12月 1日

校長 山本 一臣

山手小学校ホームページ：「佐世保市立山手小学校」で検索するとご覧いただけます。



いよいよ師走となり、今年もあと一月となりました。子どもたちもたくさん行事をこなしながら元気に頑張っています。インフルエンザでの欠席も少しありましたが現在は落ち着いている状態です。

さて、子どもたちの学習も22日が後期前半の授業終了日となります。左の写真は、2年2組算数の研究授業の様子です。この日はかけ算の授業で、「おかしのはこが4つあります。1つのはこにはおかしが5こずつはいつています。みんなでなんこになります

か？」という問題を「順番に気をつけて図や式を使って説明しよう」というめあてで授業を行いました。子どもたちは、式が 5×4 になるのか 4×5 になるのかで考え、予想を元にグループで話し合ったり、具体物を使ったりしながら説明をしていきました。ここでは、「1つ分の数」と「いくつ分の数」といったキーワードに着目させながら授業を進めていきました。こうして、この授業で学んだことを元に次の授業へ進んでいきます。

祇園中学校 職場体験

今年度も、佐世保北中に続いて祇園中からも2名の生徒が職場体験にやってきました。朝はあいさつ運動から始まり、それぞれ6年1組と6年2組に入って授業、給食、掃除等3日間6年生と一緒に生活してもらいました。最終日には、祇園中学校のことについてプレゼンテーションしてもらいました。6年生からの質問にも二人がまた違った角度から答えてくれました。6年生の子どもたちは、学習やいろんな事が忙しくなる中にも、中学生へ向けての大きな期待が膨らんだようです。



「百人一首」に取り組んでいます

11月から、百人一首を覚えて暗唱した子には合格証を渡しています。万葉集に出てくるような言葉ですから非常に難しい言葉ですが、現在NO3の和歌まで終わり、20名以上の子どもたちに合格証を渡しました。低学年の子どもたちも挑戦しています。百人一首を暗唱する効果としては、暗唱することによって子どもたちの脳が活性化して「潜在している脳の力」が開花するのを助けてくれること。すばらしい古典が暗唱できることの喜びや達成感が子どもの自信につながることで、暗唱した百人一首（古文）が素養となって国語力の根幹を大きくしてくれること、記憶の回路を広げること、などの素晴らしい効果をのぞむことができると言われています。今年の残りと来年いっぱいまで百まで行きたいと考えています。





6年生グループホームさくらの訪問

12月 行事予定

- 1日 (金) 少年の日・安全点検
- 4日 (月) 図書ボランティア読み聞かせ
- 5日 (火) 人権集会・北中職場訪問
- 6日 (水) 学力テスト (3～6年)
委員会活動
- 7日 (木) 体育朝会
グループホームさくら訪問 (6年)

- 8日 (金) 第3回避難訓練
 - 9日 (土) 市学校保健研究大会
 - 12日 (火) 児童集会
授業参観・懇談会(低)
親子ブラッシング (3年)
 - 14日 (木) 縦割活動
授業参観・懇談会(高)
メディア教室 (4年)
学校保健委員会
(メディア講演会 15:00～)
 - 17日 (日) 家庭の日
 - 18日 (月) 桜の聖母幼稚園との交流 (5年)
 - 19日 (火) 音楽朝会・シガー先生来校日
食育の日
 - 22日 (金) 前期前半授業終了日
 - 23日 (土) 天皇誕生日
- 前期後半授業開始日
1月 9日 (火) 集団下校

＜山手小学校の各校一徳運動＞ 気持ちのよいあいさつ ワンストップあいさつ



5年社会科学見学(11.2)



3年社会科学見学(11.15)



6年測量出前教室(11.24)



6年音楽集会発表(11.27)



1年山手まつり発表(11.30)



2年山手まつり発表(11.30)